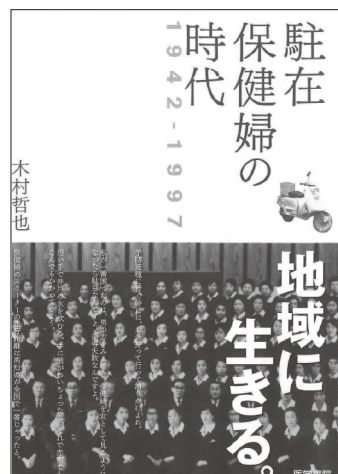


駐在保健婦の時代 1942-1997

著：木村哲也
A5判・328ページ
定価：2,940円(本体2,800円+税5%)
発行：医学書院(TEL.03-3817-5600)

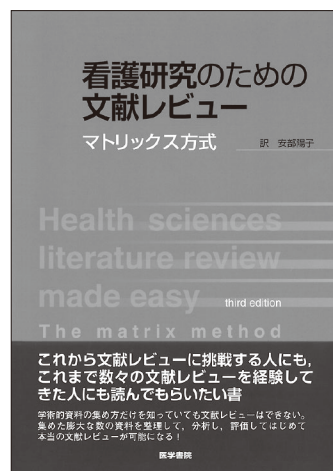
著者の祖母がそうであった、高知県の駐在保健婦への聞き書きを中心に、保健婦自身の言葉を核にまとめられた、その通史と活動。日本に「健康」や「衛生」の概念が薄かった時代、さまざまな健康問題を通して地域をまるごと支えた駐在保健婦の、プロとしての気概、使命感をいまに伝える書。



看護研究のための文献レビュー マトリックス方式

著：Judith Garrard
訳：安部陽子
B5判・176ページ
定価：2,940円(本体2,800円+税5%)
発行：医学書院(TEL.03-3817-5600)

看護研究に限らず、学術研究に欠かせない文献レビュー。研究に対する独自の視点をもつためにも、関連する分野の研究論文に精通していることが不可欠だ。本書は、文献の検索から整理に有用な「マトリックス方式」を詳細に解説、分析し、評価までの道筋をわかりやすく示す。初学者にも熟練者にも役立つ1冊。



病院で死ぬのはもったいない 〈いのち〉を受けとめる新しい町へ

著：山崎章郎、二ノ坂保喜
編：米沢慧
定価：1,890円(本体1,800円+税5%)
発行：春秋社(TEL.03-3255-9611)

著名な在宅医2人の講演、対話を軸に、「いのちの深さ」をテーマとする作家が編んだ、いのちの終わり方への提言の書。過剰な医療が施されなければ、人の死は穏やかであり、死は自然な出来事なんだ、と語る山崎医師。「逝く力」を受け止める「看取る力」。それを支える在宅医ならではの言葉が心に響く。

